



夏休み前から適切な対応を！

自殺予防 対策の充実

児童生徒の自殺予防対策について、**夏休み前から適切な対応を確実にいきましょう。**

18歳以下の自殺は、夏休み明けに急増する傾向があります。

夏休み前の対応



SOSを出しやすい環境整備を行きましょう！

平成27年版自殺対策白書(抄)

参考

□早期発見

アンケート調査や教育相談等を実施する。

□相談窓口の周知

「24時間子供SOSダイヤル」や「総合相談窓口」等を児童生徒や保護者へ配付する。

□大人への相談の呼びかけ

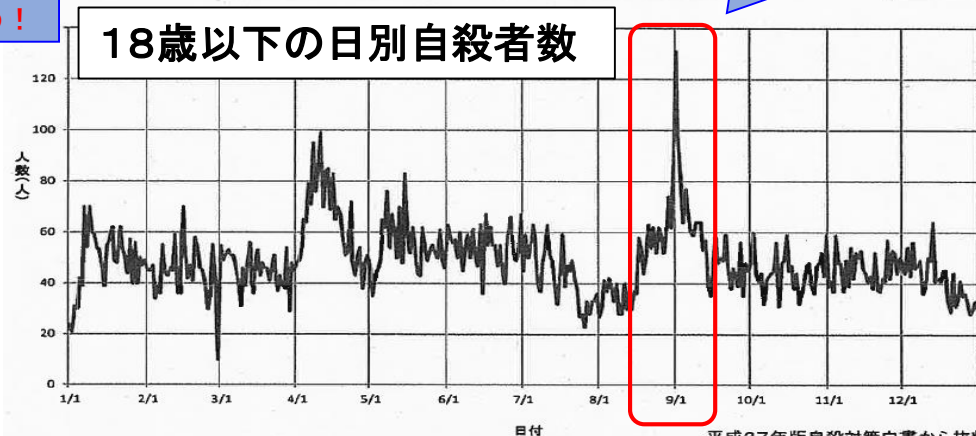
全ての児童生徒に対し、不安や心配事がある場合は、1人で抱え込まず、保護者、教職員、SC等の大人へ相談するよう呼びかける。

□学校相談窓口の周知

休業中に保護者が把握した児童生徒の悩みや変化について、相談する窓口を学校内に設定し、保護者に周知する。

□組織的な対応

気になる児童生徒については、特定の教職員で抱え込まない。



平成27年版自殺対策白書から抜粋
(過去約40年間の厚生労働省「人口動態調査」の調査票から内閣府が独自集計)

夏休み中の対応



休業前に把握した児童生徒の様子を継続的に確認！

□継続的な様子の確認

学校が把握した悩みを抱える児童生徒や、いじめを受けた又は不登校となっている児童生徒等については、夏休み中においても、登校日、部活動等の機会を捉え、又は保護者への連絡、家庭訪問等により、継続的に様子を確認する。